

ごあいさつ



津田塾大学同窓会会長
内海 房子

2019年の春、新5000円札の肖像に津田梅子が選ばれたというニュースが日本中を駆け巡り、同窓生にとってこれほど衝撃的でうれしい出来事はありませんでした。あれから5年、その新札発行を記念しての様々な取組が行われてきましたが、その中で一番大きなイベントが本シンポジウムです。世代を超え立場を超えた議論が、同窓生はもちろんのこと、多くの方の未来へつながる新たな気づきとなりますことを心より願っています。



津田塾大学学長
高橋 裕子

津田塾大学同窓会のみなさまが「津田梅子新5000円札記念プロジェクト2024」を展開してくださっていることに深く感謝しています。津田梅子生誕160年という記念の年に、本シンポジウムに参加できることをとても嬉しく、そして光栄に存じます。みなさまとともに、本学創立者の足跡をあらためて振り返り、現代を生きる私たちへの「糧」にできればと祈念しています。

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 津田塾大学同窓会会長 内海 房子

13:05-13:45 基調講演 津田塾大学学長 高橋 裕子
『津田梅子が目指した教育理念』

13:45-14:05 特別講演 古川 安
『生物学研究者としての津田梅子が今に語りかけるもの』

----- 休憩 20分 -----

14:25-15:55 パネルディスカッション ①はたらく ②まなぶ ③いきる

3会場で同時開催します。申込時に選択したパネルディスカッションにご参加ください。
パネルディスカッションの詳細は裏面をご覧ください。

----- 休憩 20分 -----

16:15-16:35 シェアセッション パネルディスカッションモデレーターによる報告

16:35-17:00 閉会挨拶 津田塾大学学長 高橋 裕子

記念オリジナルグッズ販売！

シンポジウム会場限定販売品あります♪

9/14(土)12:00~13:00, 17:00~17:30

場所:千駄ヶ谷キャンパス1階正面玄関



一部グッズは7/3(水)よりオンライン販売しています



グッズ販売



LINEスタンプ



特設サイト

新5000円札記念シンポジウム

津田梅子の 創造と挑戦、 そして明日へ

女子英学塾創立から124年、
新5000円札に津田梅子が
選ばれました。梅子が果たした
役割、女性の活躍の現状と未来
について考えます。

~未来を切り拓く女性の道標~



2024
9.14 [土]

開場12:00 開始13:00

会場 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス

参加費無料
事前申込制(先着順)
ハイブリッド開催

記念グッズ販売！
シンポジウム会場限定販売品あります♪
9/14(土)12:00~13:00, 17:00~17:30
千駄ヶ谷キャンパス1階正面玄関にて



一部グッズは7/3(水)より
オンライン販売中

主催 一般社団法人 津田塾大学同窓会
共催 学校法人 津田塾大学



開会挨拶
うつみ ふさこ
内海 房子
津田塾大学同窓会会長

1971年数学科卒。NECでソフトウェア開発に従事し、技術課長を経て1989年に人事部に転じ、全社の女性活用を手がける。以後、人事・勤労・人材育成の仕事に従事。NECソフト(株)執行役員、NECラーニング(株)社長、(独)国立女性教育会館理事長などを歴任。



基調講演・開会挨拶
たかはし ゆうこ
高橋 裕子
津田塾大学学長

1980年英文学科卒。筑波大学大学院(国際学修士)、米・カンザス大学大学院にてM.A.及びPh.D.を取得。専門はアメリカ社会史(家族・女性・教育)、ジェンダー論。International Federation for Research in Women's History会長、大学基準協会会長などを務める。



特別講演
ふるかわ やす
古川 安
総合研究大学院大学客員研究員

1971年東京工業大学工学部卒。米国オクラホマ大学大学院博士課程修了、Ph.D.(科学史)。横浜商科大学商学部助教授、東京電機大学工学部教授、日本大学生物資源科学部教授、化学史学会会長などを歴任。著書に『津田梅子—科学への道、大学の夢』。



総合司会
くさの みつよ
草野 満代
アナウンサー

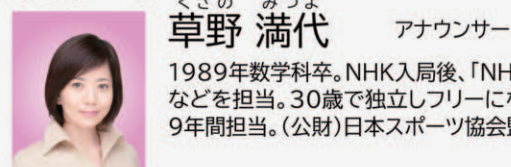
1989年数学科卒。NHK入局後、「NHKおはよう日本」キャスター、「NHK紅白歌合戦」総合司会などを担当。30歳で独立しフリーになる。TBS報道局と専属契約し「筑紫哲也ニュース23」を9年間担当。

パネルディスカッション

① はたらく 会場 SA202

現代の「はたらく」環境での女性のリアルな位置、理想とのギャップ、津田で学んだことや教育理念はどう活かしているのでしょうか？

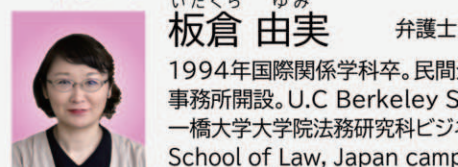
モデレーター



くさの みつよ
草野 満代
アナウンサー

1989年数学科卒。NHK入局後、「NHKおはよう日本」キャスター、「NHK紅白歌合戦」総合司会などを担当。30歳で独立しフリーになる。TBS報道局と専属契約し「筑紫哲也ニュース23」を9年間担当。(公財)日本スポーツ協会監事、オンワードホールディングス(株)社外監査役。

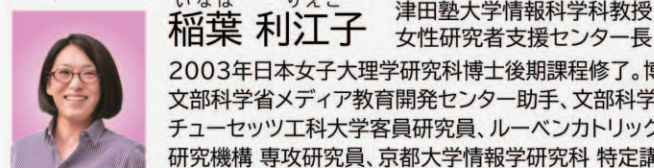
パネリスト



いたくら ゆみ
板倉 由実
弁護士

1994年国際関係学科卒。民間企業勤務を経て2005年弁護士登録。2021年さくら国際法律事務所開設。U.C Berkeley School of Law客員研究員、青山学院大学法学部非常勤講師、一橋大学大学院法務研究科ビジネスロー専攻非常勤講師など歴任。現在、Temple University, School of Law, Japan campus (LL.M course in the U.S Law) 在学中。

パネリスト



いなば りえこ
稲葉 利江子
津田塾大学情報科学科教授
女性研究者支援センター長

2003年日本女子大理学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。専門は社会情報学、教育工学。文部科学省メディア教育開発センター助手、文部科学省在外研究員制度にて渡米・渡欧し、マサチューセッツ工科大学客員研究員、ルーベンカトリック大学客員研究員。独立行政法人情報通信研究機構 専攻研究員、京都大学情報学研究科 特定講師を経て、2013年より津田塾大学。

パネリスト



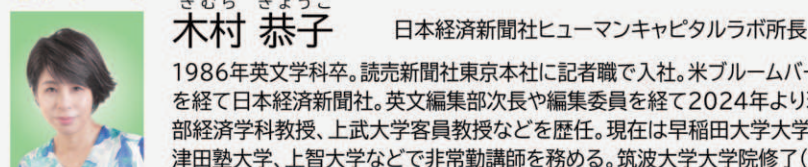
おおやま ゆり
大山 友理
オイシックス・ラ・大地(株)勤務

2022年総合政策学科卒。高校3年時に全国各地の多様な女性の生き方を発信する学生コミュニティ“Women's Innovation”を設立、代表を務める。東京近郊の他、北海道、東北、広島で活動を展開。BusinessInsiderJapan編集部インターンなどを経て2022年オイシックス・ラ・大地(株)に入社。2024年社内外交流サークルふくろうの学び舎を立ち上げる。

② まなぶ 会場 SA302

いつでもどこでも「まなぶ」ことはできます。まなぶことの意義やおもしろさを、リベラルアーツを体現する同窓生が語ります。

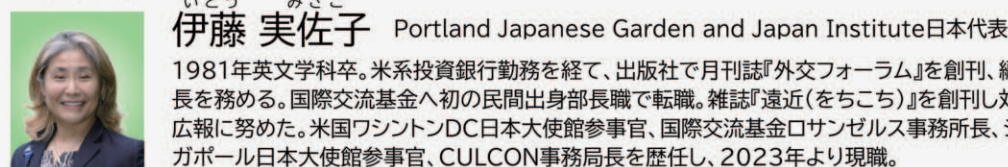
モデレーター



きむら きょうこ
木村 恭子
日本経済新聞社ヒューマンキャピタルラボ所長

1986年英文学科卒。読売新聞社東京本社に記者職で入社。米ブルームバーグ・ニュース東京支社などを経て日本経済新聞社。英文編集部次長や編集委員を経て2024年より現職。東海大学政治経済学部経済学科教授、上武大学客員教授などを歴任。現在は早稲田大学大学院ジャーナリズムコースや津田塾大学、上智大学などで非常勤講師を務める。筑波大学大学院修了(カウンセリング修士)。

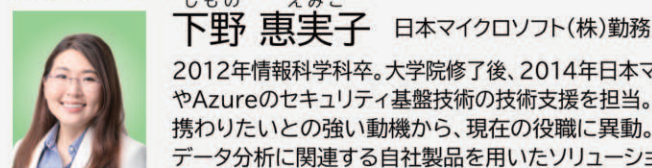
パネリスト



いとう みさこ
伊藤 実佐子
Portland Japanese Garden and Japan Institute日本代表

1981年英文学科卒。米系投資銀行勤務を経て、出版社で月刊誌『外交フォーラム』を創刊、編集長を務める。国際交流基金へ初の民間出身部長職で転職。雑誌『遠近(をちこち)』を創刊し対外広報に努めた。米国ワシントンDC日本大使館参事官、国際交流基金ロサンゼルス事務所長、シンガポール日本大使館参事官、CULCON事務局長を歴任し、2023年より現職。

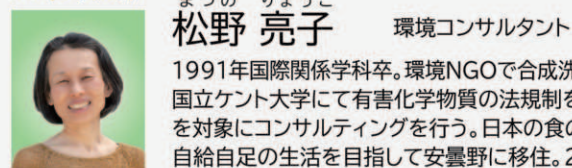
パネリスト



しもの えみこ
下野 恵実子
日本マイクロソフト(株)勤務

2012年情報科学科卒。大学院修了後、2014年日本マイクロソフト(株)に入社。4年半、WindowsやAzureのセキュリティ基盤技術の技術支援を担当。2018年、当時注目され始めていた“AI”に携わりたいとの強い動機から、現在の役職に異動。大手法人・公共機関の顧客に対してAIやデータ分析に関連する自社製品を用いたソリューション構築の支援を行う。

パネリスト



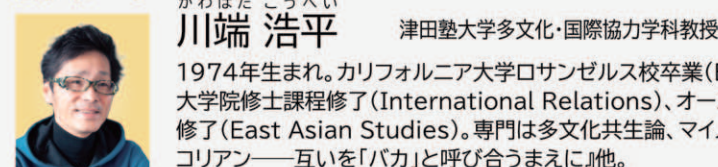
まつの りょうこ
松野 亮子
環境コンサルタント

1991年国際関係学科卒。環境NGOで合成洗剤追放運動に関わったのがきっかけとなり、イギリス国立ケント大学にて有害化学物質の法規制を学び、法学博士号を取得。帰国後、大手化学品企業を対象にコンサルティングを行う。日本の食の将来を考え、肥料・農薬を使わない自然農法による自給自足の生活を目指して安曇野に移住。2019年より4年間池田町町議会議員を務める。

③ いきる 会場 広瀬記念ホール(SA305)

共生社会とは？多様性とは？
日本社会を分析し、グローバルな視点で「いきる」について考えます。

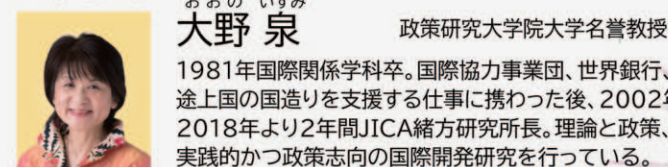
モデレーター



かわばた こうへい
川端 浩平
津田塾大学多文化・国際協力学科教授

1974年生まれ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校卒業(East Asian Studies)、国際大学大学院修士課程修了(International Relations)、オーストラリア国立大学大学院博士課程修了(East Asian Studies)。専門は多文化共生論、マイノリティ論。著書に『排外主義と在日コリアン—互いを「バカ」と呼び合うまえに』他。

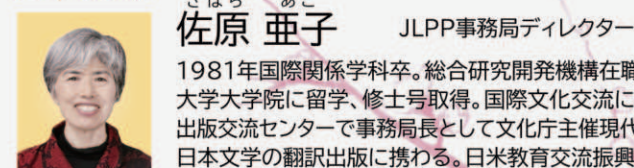
パネリスト



おおの いずみ
大野 泉
政策研究大学院大学名誉教授

1981年国際関係学科卒。国際協力事業団、世界銀行、海外経済協力基金、国際協力銀行などで途上国の国造りを支援する仕事に携わった後、2002年より政策研究大学院大学で教鞭をとる。2018年より2年間JICA緒方研究所長。理論と政策、開発協力の現場をつなぐ活動を目指し、実践的かつ政策志向の国際開発研究を行っている。

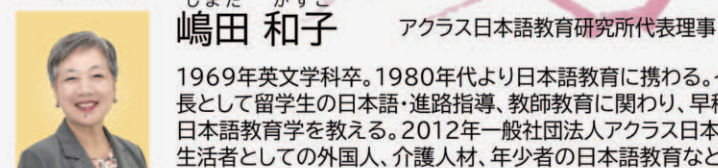
パネリスト



さはら あこ
佐原 亜子
JLPP事務局ディレクター

1981年国際関係学科卒。総合研究開発機構在職中にフルブライト奨学生としてメリーランド大学大学院に留学、修士号取得。国際文化交流に関する公益法人を経て、NPO法人日本文学出版交流センターで事務局長として文化庁主催現代日本文学の翻訳・普及事業(JLPP)に従事し、日本文学の翻訳出版に携わる。日米教育交流振興財団理事。

パネリスト



しまだ かずこ
嶋田 和子
アクラス日本語教育研究所代表理事

1969年英文学科卒。1980年代より日本語教育に携わる。イーストウエスト日本語学校にて副校長として留学生の日本語・進路指導、教師教育に関わり、早稲田大学大学院、清泉女子大学等で日本語教育学を教える。2012年一般社団法人アクラス日本語教育研究所を設立。以後、留学生、生活者としての外国人、介護人材、年少者の日本語教育など、さまざまな分野に携わる。